

## 

第58回

オレンジカフェ わだや小路

米子市糀町の「わだや小路」

のりひこ 文彦 th **巻子** 

色々な方と

お話しするのが楽しみ

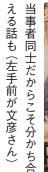
ある日、姪御さんが恙子さん 郷へ帰ってきました。米子で さんご夫婦は、このカフェに 加者は思い思いの時間を過ご り、のんびり過ごしたり、参 の中で、会話に花を咲かせた 楽しめる場所です。改装され 本人や家族、地域住民が集ま な日々を送っていましたが、 委員、公民館の活動など多忙 は、自治会の会長や少年指導 約7年前から通っています。 します。田淵文彦さん・恙子 た古民家の落ち着いた雰囲気 フェが開催されています。オ では、週に1回、オレンジカ で、大阪で小学校の教員とし て定年まで勤め上げた後、故 レンジカフェとは、認知症の 夫の文彦さんは米子市出身 お茶を飲みながら交流を

> すぐに病院を受診すると、ア と違う」と受診を勧めました。 ルツハイマー型認知症と診断 に「文彦さんの様子がいつも

み」と2人は笑顔を見せます。 かった」と振り返ります。 な方とお話しするのが楽し では出会えないような、色々 うです。「近所付き合いだけ フェに通い始めた方もいるそ の穏やかな人柄に惹かれ、 手伝いをしています。お二人 方々と一緒にカフェの調理の 弾ませ、恙子さんは当事者の ムードメーカーとして会話を では、文彦さんはカフェの 入れていただいて、うれし の皆さんにすぐに温かく受け れ、訪れたお二人。「カフェ からオレンジカフェを紹介さ 診断されたその日に、医師 力

されました。







楽しい」と恙子さん(写真奥) 「いつも料理を教えてもらえ」